

(仮称) いわき若手経営者塾について

いわき市産業創出課

2020.2.14会議資料



1 前回までの経過

人財育成事業に係る前回の協議内容（令和元年8月22日開催）

- 事務局より、人財育成事業の成功事例である「フロンティアすみだ塾」・「はちおうじ未来塾」と同様の事業を提案
＜提案事業のポイント＞
 - ① コンセプト：地域の次世代を担うリーダーとなる事業承継者や若手経営者を対象に、人財育成の取組みを進めることで事業承継につなげるとともに、地域企業の競争力強化につなげる。
 - ② 対象者：ものづくり企業を中心にしつつ、多様な業種の2代目や若手経営者（概ね45歳以内）
 - ③ 塾頭：関 満博 氏（一橋大学名誉教授、振興会議アドバイザー）
 - ④ 内 容：経営者に必要な基礎知識、人間力、課題解決能力、事業構想力の習得及びネットワークの構築
 - ⑤ その他：参加費5万円、定員10名～15名程度、OB会の組織化

各委員からの主な意見

- ✓ 同様の事業を行っている他の機関との連携も検討すべき
- ✓ 他のスクール等と参加者の取り合いにならないようにすべき
- ✓ 職種は限定せずに広く対象とした方が良い
- ✓ 事業構想力（新規事業開発スキル）向上も取り入れた塾とすべき
※第2創業の推進や新規創業者の創出も視野に
- ✓ 「高度なプログラムとするためには必要」との意見がある一方、「集客面での課題となることや広く参加できる仕組みとするためには高額な負担は避けるべき」といったように委員間でも意見が割れた



市内の人財育成事業を一旦整理した上でカリキュラム等を検討することとした



2 市内の人財育成事業の実施状況

市内経営者等を対象とした人財育成事業等に関する調査（令和元年9月調査）

<調査概要>

- ① 目的：市内で行われている人財育成事業を把握することで、対象者やカリキュラム等の参考とするほか、他の機関との連携可能性を検討する
- ② 調査先：市内の支援機関、経済団体、金融機関、その他民間団体等 18 団体
- ③ 調査対象：1 事業において、年間 5 回以上の講座を計画的に開催している人財育成事業
- ④ 調査項目：事業名、実施主体（共催の有無）、負担金の有無、開催頻度（年間講座数）、開催期間実績（参加人数や O B 会の有無など）、事業内容（コンセプトや参加要件等）、自由意見

<結果概要>

- ✓ 全 18 団体より回答（回答率100%）
- ✓ 年間 5 講座以上開催しているのは **5 事業**
- ✓ うち、**主に後継者をターゲット**としているのは **3 事業**であるが、
来年度以降の**事業継続は確定していない**
➡次項参照



2 市内の人財育成事業の実施状況

<具体的事業>

実施主体	事業名	主な対象者	事業概要
いわき商工会議所 今年度で事業終了	企業活性化プロジェクト	・経営者 ・後継候補者 ・従業員	・場のマネジメントやK T法を学び、経営者、後継候補者、従業員が一体となり自社の経営戦略を策定する
いわき信用組合 (うるしの実クラブ) 本事業との連携を検討中	次世代経営の会	・経営者 ・後継候補者 ・従業員	・経営者として必要な知識と心構えを認識する ・日々変化する市場環境の中でビジネスチャンスを発見するためのポイントと手法を学ぶ ・参加者間でのネットワークを構築し、異業種間連携を推進する
福島県中小企業家同友会 県内持ち回り開催のため次回のいわき開催は4～8年後	同友会大学	・経営者 ・後継候補者	・地元大学との連携により、多様な専門家からの講演を聴講し、経営力の向上と複雑に変化する現代を見通す「眼」を養成する
いわき産学官ネットワーク協会 来年度以降も継続	いわきものづくり塾	・従業員	・本市の基幹産業である製造業を支える人財の育成を目的に、ものづくりに関する多様な講座を開催し、実務レベルでの技術力と研究開発力の向上を図る
ふくしまチャレンジはじめっぺ 来年度以降も継続	ふくしま復興塾	・起業家 ※地域課題解決を目的とする事業等	・福島の復興や活性化に資する事業の創出や発展を目的に、一流のメンター陣のもと、フィールドワークやグループワークを重ね、自身の事業をブラッシュアップし事業化を実現する

主に後継候補者がターゲット



3 考 察

既存の人財育成事業等の状況

- 年1回～3回程度のセミナーは様々な機関で開催しているものの、
同じ参加者間でじっくりと学び合い、強固なネットワーク構築を図れるような場は少ない
- 「How to」もののセミナーがほとんどであり、
経営者マインドの育成を目的としたものは少ない
- 創業者を対象としたセミナーは多数行われているものの、
「後継候補者」をターゲットとした事業は、次年度は予定されていない
- 無料のセミナーが大多数であり、
参加者負担金を徴するバリュー感を打ち出せたカリキュラムはほとんど開催されていない

新たに立ち上げる人財育成事業の狙い

- ① 後継者（候補者）・若手経営者をターゲットに
- ② 経営者のマインドを奮い立たせるようなカリキュラムを提供しながら
- ③ 参加者間で強固なネットワークを構築し、地域の次世代を担うリーダー群を育成する



4 事業コンセプトと基本スキーム

事業コンセプト

ネットワーク構築&経営者マインドの醸成

オープンイノベーションの促進

- 孤立ぎみの若手経営者に対する『**学びの場**』と『**ネットワーク構築の場**』の提供
- **タテ**（現役生とOB）、**ヨコ**（同期生）との**関係構築**による切磋琢磨と成長、**異業種連携の促進**
- 将来的には、OBによる運営、現役生へのアドバイスによる『**育成の連鎖**』の構築

経営者としてのレベル向上・円滑な事業承継

- 悩みの共有、解決への糸口発見、成長
- グループディスカッションによる**ケーススタディ**を行うことで**マネジメント力向上**につなげる
- 経営者としての**覚悟**を持たせ、**円滑な事業承継**につなげる
- 市内若手経営者が『**地域の未来を考える機会**』の創出

事業スキーム

全国的な成功モデルのノウハウの活用…“**関塾**”との連携

- 一橋大学名誉教授である関氏は、後継者育成事業の成功事例と全国的に評価されている墨田区や八王子市などを手掛けており、これまで**全国で25事業**に関与し、**約3,000社とのネットワーク**を有している

カリキュラムの高度化

- 過去の豊富な**知見**を活用
講師選定、講座の進め方、事務局の運営ノウハウなど

ネットワークの拡大

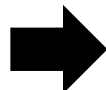
- 全国各地の**志の高い経営者**とつながるきっかけづくり
遠くの同業種との連携、**BCP力の向上**など



5 事業概要（案）

<令和2年度の取り組み>

- ✓ 塾を創り上げていくセッティング期間と位置付け
- ✓ 今後の塾をけん引するコアメンバー（OB）を育成



「いわき」の産業力強化のため、
効果の高いカリキュラムを
塾生と共に創り上げていく

対象者

- 市内企業の後継者（2代目）や若手経営者（45歳程度まで）で熱意と意欲を持って参加できる者
- 受講者数は概ね10名程度を想定（グループワークにおける適正人数程度）

開催期間等

- 概ね月1回程度 = 年間10コマ程度（原則、土曜日の午後4時間程度）

参加者負担金

- 令和2年度は、セッティング期間で、塾生と共にプログラムを作り上げる位置づけのため、安価に設定したい。

基本的な講座の進め方

- 講師による講演（約2時間）
- グループディスカッション（約1時間）
- 発表（約1時間）

※講師から課題図書を出し、次回までに読破し感想文の提出を求める。また、講座終了後には会場において簡易な交流会を開催予定

今後の進め方

- 塾生公募：2月下旬～3月下旬
- 選考：3月下旬～4月上旬（有識者等による選考委員会を設けて選考）
- 開講：4月18日（土）13：30から開講式を行う予定（塾頭講和、自己紹介など）



6 カリキュラム（案）

回	時期 (予定)	内 容	
1	4/18	開講（開講式）	塾頭 関 満博氏（一橋大学 名誉教授）
2	5/16	リーダーシップを学ぶ	講師 佐藤 泰博氏（ソダチクス(株) 代表取締役）
3	6/20	社会経済の実態と中小企業の対応戦略を学ぶ	講師 藻谷 浩介氏（(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員）
4	7/18	企業の存在意義	講師 浜野 慶一氏（(株)浜野製作所 代表取締役）
5	8/22	経営体験の共有	講師 深田 稔氏（深中メッキ工業(株) 代表取締役）
6	9/19	塾生との協議により今後選定	
7	10月中旬～ 11月上旬	他地域との交流	塾生OBが次々とイノベーションを起こしている「フロンティアすみだ塾」との交流を予定
8	11/21	若手後継者の奮闘記 （市内ロールモデル）	講師 関口 龍一郎氏（東北ネヂ製造(株) 代表取締役）
9	12/19	塾生との協議により今後選定	
10	1月下旬～ 2月上旬	他地域との交流	全国の若手経営者が集う「明日のすみだを拓く大交流会」へ参加予定
11	2/20	閉講 （最終発表・修了式）	塾頭 関 満博氏（一橋大学 名誉教授）塾生による「自社の事業戦略」プレゼンテーション

※開催は基本第3土曜日とし、場所は産業創造館とする

6 カリキュラム（講師）紹介



関 満博氏（塾頭）

中小企業論、地域経済論の第一人者であり、「現場主義」をモットーに、国内外の中小企業を実際に訪問して調査を続けている。

東日本大震災からの復興に向けた調査として、市内企業も約50社訪問。

各地で産業振興アドバイザーを歴任し、本市の中小・小規模企業振興会議アドバイザーも務めている。

【関塾ネットワーク】

- ・国内**25都市**において人財育成塾の塾頭を務め、**カリキュラムを監修**
- ・これまでに築き上げた**ネットワークは約3,000社**
- ・**豊富な知見とネットワークを活かした事業構築**が可能となり、**B C P力の向上にも期待**できる
- ・**塾生 O B達**が数々の**イノベーションを起こしている**「フロンティアすみだ」や「はちおうじ未来塾」などの**成功事例との連携**により、**新たなイノベーションに繋げる**

【主な略歴】

1998年 一橋大学商学部教授

2000年 一橋大学大学院商学研究科教授。

2011年 一橋大学名誉教授。同年明星大学経済学部教授



佐藤 泰博 氏

ソダチクス(株)代表取締役
(東京都葛飾区)

ソダチクス(株)は人材育成、組織の活性化を目的に、講演「人間魅あるリーダーを目指して」を中心に、リーダー像を糧に、確実に業績アップを達成する組織とリーダーの育成や、ビジネスマナー研修を行っている。

また、明確な目標を設定した業績アッププログラムも定評がある。

「人の可能性を無限大に育て、伸ばす。」がミッション。

講演「人間魅あるリーダーを目指して」は、リーダーシップに関するさまざまな疑問に明快な指針を与える。

講演回数はこれまでに数百回を超え、日本全国の企業をはじめ、青年会議所や学校等の各種団体からの依頼も多い。聞かたびに新たな発見があると、毎年繰り返して行っている企業、団体も多数。

この講座をカリキュラムに組み込むことで、次世代を担うリーダーとしての心構えを養うとともに、今後の自分自身の心構えをディスカッションを通して塾生間で共有することで明確化する。



6 カリキュラム（講師）紹介



藻谷 浩介氏

(株)日本総合研究所
調査部 主席研究員
※地方創生のオピニオンリーダー

【主な略歴】

1964年 山口県生まれ
1983年 東京大学文科Ⅰ類
入学
1988年 同大学法学部私法
コース卒業
1988年 日本開発銀行入行
1994年 米国NY市コロンビア
大学経営大学院
卒業（MBA）
2012年 (株)日本政策投資銀行 地域企画部
特任顧問

平成合併前 3,200 市町村のすべて、海外 72ヶ
国をほぼ私費で訪問し、地域 特性を多面的に把握。

2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し
精力的に研究・著作・講演を行う。

2012年より現職。近著に「デフレの正体」、第七回
新書大賞を受賞した「里山資本主義」、「金融緩和の
罠」、「しなやかな日本列島のつくりかた」などがある。

藻谷氏より社会経済の実態と中小企業の対応戦
略を学び、自社（塾生）の事業への落とし込み、ディス
カッションでブラッシュアップする。



浜野 慶一氏

(株)浜野製作所代表取締役
(東京都墨田区)

(株)浜野製作所は、1968
年に慶一氏の父嘉彦氏が
金属加工を行う町工場とし
て創業。

慶一氏は幼い時から両
親が必至に働く姿を見て育
ち、中小企業の厳しさを実
感していたため、家業を継ぐ
つもりはなかったという。

ある時父嘉彦氏から酒の
誘いを受け、そこで父が町
工場での仕事が誇り高いも
のであることを目を輝かせて
説明する姿を見て承継を
決意。

大学卒業後は修行のため取引先であった精密板金
加工会社へ就職するも、1993年創業者である嘉彦
氏の死去に伴い、急遽代表取締役に就任。

その後、生き残りをかけた様々な戦略を打ち出し、
2014年にはものづくりの基盤技術の集積や異業種
交流、スタートアップ支援等を目的とした「Garage
Sumida」をオープンし、様々なイノベーションを創出。

浜野氏から実体験に基づく事業承継時の苦労やそ
の後の様々な経営戦略を学び、自社（塾生）の現
状と今後についてディスカッションを行う。